

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- | | |
|---|------------|
| 1 | 一括質問一括答弁方式 |
| 2 | 一問一答方式 |

質問件名 公共トイレの重要性を認識し、協力店事業を行ってはどうか

質問要旨

これまで複数の議員から、玉川上水緑道沿いの公共トイレ設置に関する要望があった。しかし、市の答弁は、「公共トイレは一定の配置がなされており、新たに整備する予定はなく、また小平観光まちづくり協会が出している小平グリーンロード&オープンガーデンマップに公共トイレの場所は記載されている」といったものであった。たしかに、玉川上水沿いにある公共トイレの間を結べば、いずれも徒歩 15 分以内の距離にあり、つまりどこにいても 7 分ほど歩けばトイレに到着できることになる。しかし、これは時速 5 km で計算した場合である。歩く速度がゆっくりで、マップもすぐに確認できないような、公共トイレの利用率が高い高齢者のことが忘れられているのではないか。

なお、最も公共トイレの設置間隔が長いのは、平櫛田中彫刻美術館の周辺である。同美術館は入場料が必要であることや開館時間が限られていることから入場のハードルがあり、この施設を公共トイレに含めることは不適切と考える。これを省いて考えると、上水本町地域センターもしくは四小東公園から西に進む場合、次はみよし公園になり、徒歩約 20 分の距離になる。つまり、この辺りでは最長で 10 分くらいは歩く必要があり、たとえば時速 2.5km で歩かれる高齢者の場合 20 分程度かかる。さらに、どこにトイレがあるかもわからない状況では、不安で散歩ができないという話もよく分かる。

高齢化社会やコロナ禍において、安心して散歩ができることや、近くの公園で過ごすことの効用が非常に大きいことは、日本だけではなく海外でも認められるようになってきている。高齢者でも安心して散歩ができるよう、新市長のもとで、公共トイレのあり方から今一度見直す必要があると考え、質問する。

1. 市のまちづくりを計画する際、高齢者の歩行速度まで想定するような基準はあるか。
2. 最も必要としている高齢者が使いにくい小平グリーンロード&オープンガーデンマップでは意味がない。市は、配布物におけるユニバーサルデザインをどう捉え、委託先と共有しているか。
3. 小平市防災マップアプリに公共トイレの場所も入れてはどうか。
4. 町田市、国立市が行っているような公共トイレ協力店事業を検討してはどうか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 3 年 11 月 12 日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名

安竹 洋平

受付番号【 】
